

まゆだまに就て

女高師附屬幼稚園保姆 坂 内 ミ ツ

元日のお式が済むと幼稚園の門からにこ／＼と出てくる多くの幼児を見ました。その顔の輝いて居るのはたゞお正月が嬉しいためばかりではなく手に持つて居るまゆだまに抑へきれぬ嬉しさがあるのであります、精巧に出来て居るたゞみ紙や貼り紙や織紙をさげて多数の幼児に與へらるゝ先生の努力は金銭に換へがたいものがあります、誠に其誠意努力には敬服せざるを得ません。幼児は確に其誠意を充分に受取つて居るに相違ありません。私は其喜んで居る顔を見ては私も自分の幼児達を喜ばせてやり度くなりました。扱て實際に造らうと思ふとなかなかの仕事です。一組三十人、一人にさげるのが少く見て十ケとしても三百造らねばなりません。一つを造るにも幾分といふ時間がかかります。柳の工面から、球をつけるから、全部を造り上るには大した時間になります。幾日前からか準備をして放課後を費さねばなりません。幼児を歸してやれ／＼と一息入

れる間もなく、明日の準備は勿論來週や其先きの事にまで氣を配らねばならず、その外の雑用で四時迄も五時までもかゝるのが常であるのに、其上にまゆだまをつくるのに時間を費す事は日の短かい暮の仕事としてはなか／＼の難事であります。さればさて幼児の居る間はそんな方に心を用ひて居るひまはありません、又その爲に幼児に接する時間をさくならば何の役にも立ちません。其形に表はれない大なる損失は形に表はれた小なる利益によつて償ふ事は出来ません。又幼児も出来上つたものをいたゞくより自分等の力でつくつたものであつたならば一層興味を持つてはあるまいかと考へた末殆んど全部を幼児につくらせる事にしました。

お目出度ものばかりではなくなりますがなるべく因あるもので幼児の方に叶ふものを選びました。先づたゞみ紙では鶴、龜、竹、風船、富士山など、貼り紙も鶏、梅の打板や福壽草を截らせて貼りつけさせ、

鉄を用ひてはだるま、やおかめ、の面、羽子板、短冊など、幼児の喜んでつくり得るものだけにして、一の組には織紙を加へ、二の組にはつなぎ方もさせました。これに先生のつくつた梅や奴の組紙などを加へましたので可なり賑かなものになりました。これは三週間にも互る材料になりました。殆んど毎日一つづつ、につくりては自分の枝にさげさせました。幼児は喜んで一日／＼と賑かになつて行くのを樂み登園しては其下にはせ行き今日は何をさげるんですとせがむ人が多くなりました。この仕事をして居る間に次のやうな利益と困難とを感じました。

一、幼児が目的を以て作業する事。

年中行事の内には七夕だの節句だのと其目的に向つて努力する事は澤山ありますが毎日絶えず目的細目によつて生活する事は困難があります。まゆだまは極めて自然に適切に行はるゝと思ひます。

二、繼續する仕事に興味をもつ事。

幼児は現在の一時的であります、幼児の生活は其結果がどうあらうとも現在して居る事に興味を持ち其時を愉快に過せばよいのでありますが、又、一方或仕事に對して繼續的に努力する事も亦必要

な修練と思ひます。幼稚園の生活には比較的後者を考へる機會が少ないやうに思はれます。

三、色や數の觀念を明にする事。

それが無理でなくわざとらしくなく、幼児お互にいろ／＼と話し合つて居る間に自然に其効果を收め得る所に妙味があります。

困難と思つた點は。

一、各兒の柳の枝を室内に飾りおく事。

二、毎日の準備に多忙なる事。

自分がつくるよりは却て骨の折れる事もありません。だるまや羽子板などは畫用紙に色紙をはりそれに膽寫板で輪廓を書いてやりました。なるべく根本から自分等の手でつくるやうにとめました。

三、あまり長く繼續する事は興味を薄くする嫌あり。以上の事柄を參考として本年はもう少し考へてつくりませう。要するに私の考へは保姆の精力を上手に有効に善用したいといふ事なのです。何事によらず徒勞を省き精力を節減し、より以上の方面に有効に使ふ工夫をしたのであります。現在の幼児教育に於ては此點に工夫すべき餘地があるやうに思ひます。